

# バイオマス取組事例概要

東北

## (平成18年度バイオマス利活用優良表彰 農林水産大臣賞)

・応募主体

岩手県葛巻町

・都道府県・市町村

岩手県葛巻町

・取組分野

バイオガス発電、木質ペレット

### 取組概要

家畜排せつ物と生ゴミのメタン発酵によるバイオガス発電と液肥の製造。  
公共施設や個人住宅へのペレットボイラー、ペレットストーブの導入。

くすまき高原牧場(飼養頭数2,300頭:第3セクター)にて発生する乳牛糞尿(4,700t/年)と牧場内レストラン生ゴミ(146t/年)をメタン発酵させて得られるバイオガスを利用し、コーチェネ発電設備で電力(62,000kWh/年)・熱エネルギーを回収し、施設内の電力や発酵槽の温度保持に利用している。残る消化液は環境対策が施された有効な肥料として、くすまき高原牧場の牧草地へ農地還元している。同牧場は、民間業者と協力し、バイオガスを利用した燃料電池によるコーチェネシステム(電力・熱利用)の実証プラントによる開発も実施している。

また、地元の葛巻林業株葛巻工場が樹皮(チップ工場残材)から製造する木質ペレットの町内利用拡大(現状利用約400t/年)のため、公共施設へのペレットボイラー・ストーブの先導的導入や、住宅・事業所へのペレットボイラー・ストーブの導入に対する町独自の補助制度(新エネルギー導入事業補助金交付制度)やペレットストーブリース事業などに取り組んでいる。



葛巻町バイオガスシステム施設



消化液を散布する採草放牧地



木質ペレット



介護老人保健施設アットホームくすまきのペレットボイラー



一般家庭でのペレットストーブ利用